

■あゆみ橋景観設計

沼津の中心部を流れる狩野川に架かる有効幅員 7 m、全長 229 m の歩行者自転車専用橋、沼津駅側の商業中心と市役所周辺の行政中心を結び、かつ両岸の 2 つの公園（中央公園－沼津城址、香貫公園・八幡神社）をつなぐ橋でもある。狩野川左岸高水敷内の緑地は様々な催し物の舞台となるため、橋脚位置を河道内に配置すべく構造形式は PC 斜長橋 + PC 張弦梁の複合構造（斜張定着 PC 張弦桁橋）とした。基本計画から意匠設計・監理に関わり、両岸の公園との一体設計を提案、中央公園の一部改造、香貫公園の設計、周辺公共空間デザインアドバイスなどにも関わり続けて来た。



あゆみ橋架橋位置



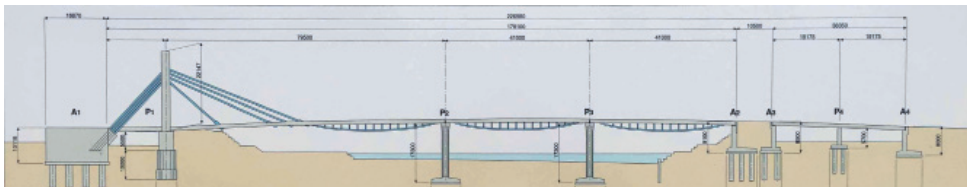
狩野川左岸高水敷広場でのイベントとあゆみ橋



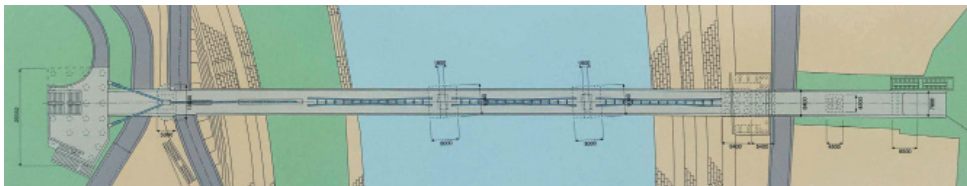
あゆみ橋の橋面*



あゆみ橋の鳥瞰写真（右岸側）*



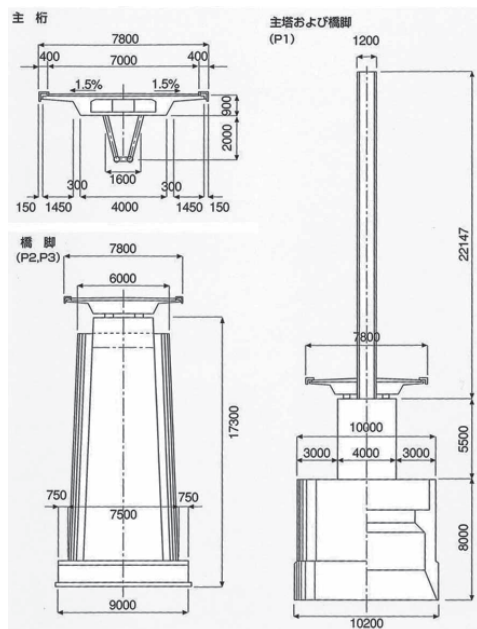
あゆみ橋側立面図



あゆみ橋平面図

経緯：（仮称）中央香貫公園橋梁整備計画（歩行者・自転車専用道路整備調査業務委託）'92.11～'93.3 [財] udc（沼津市 - 建設技術研究所と協働）、中央公園香貫線橋梁景観設計及び予備設計 '93.12～'94.3 [財] udc（沼津市 - 建設技術研究所と協働）、中央公園香貫線実施設計 '94.7～'95.3 [財]建設技術研究所（沼津市）、中央公園香貫線デザイン監理 '96.10～'98.11 [財]建設技術研究所（沼津市）、竣工：'99.3

■沼津市中心部の一連の公共空間（橋・公園・広場・道路）整備（つづき） あゆみ橋景觀設計



橋面の夜間照明



香貫公園の通路上から見るあゆみ橋主塔と橋詰のフォリー*



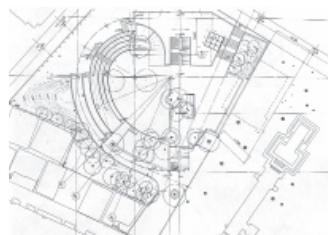
狩野川右岸高水敷よりあゆみ橋を見上げる

諸元：所在地：沼津市大手町一市場町、事業主体：沼津市、構造形式：斜張定着 PC 張弦桁橋 (178 m・96 m + 41 m × 2)、PC 中空床版箱桁橋、橋長：226.085 m、幅員：7.8 m、有効幅員：7.0 m、設計：基本設計－㈱ udc、構造：建設技術研究所、景觀：アプル総合計画事務所、景觀検討委員会〔委員長・岸井隆幸 日本大学専任講師 (当時)〕
詳細設計・監理－建設技術研究所、工事期間：'95.5 ～ '99.3、施工：住友建設、加和太建設／撮影：* 安川千秋 担当：中野、重山、清水、金光、藤本、萩尾

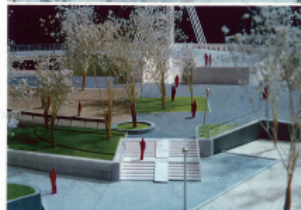
■沼津市中心部の一連の公共空間（橋・公園・広場・道路）整備（つづき） 香貫公園・公園橋

狩野川左岸の香貫公園はあゆみ橋から市庁舎方面へのアクセス上重要な位置にあり、歴史的にも旧城址の対岸に位置する市場八幡神社の境内に続く豊かな緑環境を保持してきたが、積年の河川堤防嵩上げでくぼ地となったことに加え、老朽化も含め利用度も低下していた。そこで、あゆみ橋の整備に伴い通路機能も備えたスロープの設置も含め、全面改修を行うこととなりアプルに設計を委ねられることとなった。

検討にあたっては、様々な模型検討を踏まえ、既存樹の保全と公園利用の観点から、高低差を解消するための階段と円弧状曲線形のスロープ橋を採用し、周辺道路からの公園側の見通しを確保し、頂部橋詰のアンカレイジ部に視点場となるフォアを設置した。今では川沿いや橋の通行者も含め、多くの市民利用に供されている。



香貫公園・公園橋配置平面図



模型による検討プロセス（最終採用案模型）



あゆみ橋の軸線状に保存された既存樹



上記の逆方向から保存樹越しにあゆみ橋方向を望む



香貫公園の通路上から見るあゆみ橋主塔



公園橋の桁下空間

経緯：（仮称）中央香貫公園橋梁整備計画調査'92.11～'93.3 開 udc（沼津市）、中央公園香貫線橋梁景観設計及び予備設計'93.12～'94.3 開 udc（沼津市）、香貫公園実施設計'95.12～'96.3 沼津市、中央公園香貫線取付通路設計'95.12～'96.3 沼津市、デザイン監理はあゆみ橋監理に関連し、適宜アドバイスにて対応、諸元 所在地：沼津市市場町 事業主体：沼津市 香貫公園／敷地面積：0.25ha 工事期間：1997～'98 公園橋／構造形式：3 径間 R C 中空床版箱桁橋 29.06 m (9.77 + 9.52 + 9.77) 幅員 4.0 m 有効幅員：3.5 m 施工：下部工一住友建設、加和太建設、上部工一住友建設／設計：アプル総合計画事務所、協力：橋部構造設計・株式会社シダ橋梁設計センター（至田利夫） 担当：中野、吉田、金光、萩尾

■沼津市中心部の一連の公共空間（橋・公園・広場・道路）整備（つづき） 香貫公園橋・川廓通りほか



公園頂部橋部のフォアoyerとスツール



橋のアンカレージと一体化された公園部レンガ擁壁



香貫公園の円弧曲線形状のスロープ橋と緑地部の視線の抜け具合

■香貫公園橋・旧東海道（川廓通り）および周辺公共空間

〔財〕udc／沼津市 1992-1993

あゆみ橋、香貫公園の計画設計に関連し、周辺公共空間整備全般のデザインアドバイザーを担うこととなり、1) 旧東海道（市道 3681 線）川廓（かわぐるわ）通りの電線地中化および石畳改修計画、2) 上土地区階段護岸（設計：地域まちづくり研究所・代表丸山正仁氏）の照明デザイン提案、3) 御成橋ライトアップおよび市役所通り照明等に関与した。なお照明デザインに関しては南雲勝志氏との協働による。



旧東海道川廓通りの入口サイン



電線地中化が実現し、石畳舗装となった旧東海道川廓通り



上土階段護岸遊歩道の照明柱（南雲勝志氏デザイン）



電線地中化のトランスは民地側に設置



あゆみ橋周辺対象路線位置図



旧東海道川廓通りイメージスケッチ



水神社前ポケットパークイメージスケッチ

経緯：市道 3681 号線道路景観設計他業務委託 '95.11～'96.3

沼津市、都計道中央公園香貫線周辺整備検討調査他 '97.1～'97.3 沼津市

担当：中野、金光、萩尾、天野、協力・ナグモデザイン（南雲勝志）